



当行は、環境省認定
「エコ・ファースト企業」です。

「環境金融」で低炭素社会へ



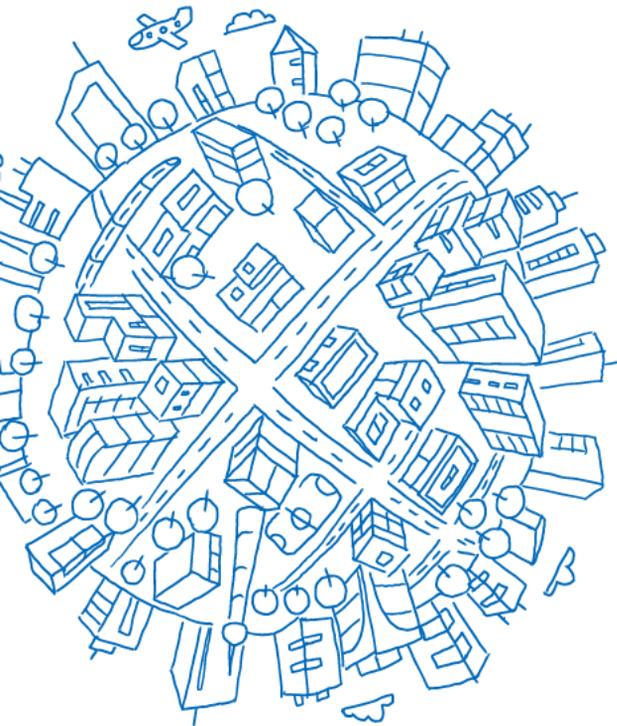
当行は、気候変動キャンペーン
「Fun to Share」に賛同しています。

SHIGA BANK

第132期

事業のご報告

2018年4月 1日 ~ 2019年3月31日



発行 / 2019年6月

編集 / 滋賀銀行 総合企画部 広報室

電話 / 077 (521) 2202

<http://www.shigagin.com>



LINE



Facebook



ごあいさつ

皆さまには、平素より格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

「チェンジ&チャレンジ」の精神で取り組んだ第6次中期経営計画の最終年度である2019年3月期の業績は、当期純利益(連結)が前期比7億円増の146億円と3期ぶりに増益となりました。預金残高(譲渡性預金を含む期中平均残高)は同1,734億円増の4兆8,039億円、貸出金残高(期中平均残高)も同1,646億円増の3兆6,967億円と順調に推移しております。

また、当行は2018年10月1日、皆さまのご愛顧とご支援のおかげで創立85周年を迎えることができました。長年のご支援に対する感謝を込めて、県内各地でグループ役員がボランティア活動を展開したほか、株主の皆さまに対しては創立85周年記念配当を実施いたしました。

さて、昨今の日本経済は、人口減少や少子高齢化、首都圏一極集中や産業構造の変化などで地域間格差が拡大し、地域社会の再生が喫緊の課題となっています。その解決に向けた取り組みの一環として、当行はSDGs(持続可能な開発目標)をビジネスにつなげる様々な施策を進めています。

2019年4月にスタートさせた第7次中期経営計画では、目指す姿を「Sustainability Design Company」、メインテーマを「未来を描き、夢をかなえる」と決めました。銀行の枠を超え、持続可能な地域社会を皆さまと共創し、「地域に

なくてはならない企業」となるよう全力を尽くしてまいります。これからも、より一層のご愛顧、ご支援を心よりお願い申し上げます。

2019年6月

取締役頭取

高橋 祥一郎



CSR憲章【経営理念】

私たちは、伝統ある近江商人の「三方よし(売り手よし、買い手よし、世間よし)」の精神を継承した行是「自分にきびしく 人には親切 社会につくす」をCSR(企業の社会的責任)の原点とし、社会の一員として「共存共栄」を実現してまいります。

行是
自分にきびしく
人には親切
社会につくす

地域社会との共存共栄

地域とともに歩む銀行として、お客さまの信頼と期待にお応えするため、「健全」と「進取」の精神を貫き、地域社会の発展に努めます。

役員との共存共栄

役員一人ひとりの人権や個性を尊重し、働きがいのある職場づくりに努め、心身ともに「クリーンバンクしがぎん」の実現に努めます。

地球環境との共存共栄

琵琶湖畔に本拠を置く企業の社会的使命として「環境経営」を実践し、地球環境を守り、持続可能な社会づくりに努めます。

滋賀銀行データ

名称 株式会社 滋賀銀行
THE SHIGA BANK, LTD.
本店所在地 滋賀県大津市浜町1番38号
設立 1933年10月1日
総資産 6兆1,004億円
預金残高 4兆9,525億円
(譲渡性預金含む)
貸出金残高 3兆7,958億円
資本金 330億円
従業員 2,006人
店舗数 133カ店(うち代理店25カ店)
(2019年3月31日現在)

CONTENTS

- ごあいさつ 1
- トピックス① SDGs 3~4
- 第7次中期経営計画 5~6
- 個人のお客さまへ 7~8
- 法人のお客さまへ 9~10
- CSRの取り組み 11~12
- 財務データ 13~20
- トピックス② FinTech 21
- トピックス③ 2019年度新CM 22
- 連結財務諸表 23~24
- 単体財務諸表 25~26
- 株式の状況/株式のご案内 27~28
- 役員一覧・グループ会社 29
- トピックス④ 数字で見る「しがぎん」 30

トピックス
TOPICS ①
「SDGs」

どうして大事な なの? 『SDGs』

～自分世代だけでなく、子や孫たちにも安心な社会を～

貧困や飢餓など地球規模の課題解決を目指すSDGs(持続可能地球と、そこに暮らす私たちにとって極めて重要な目標で、今、

能な開発目標)。その背景には「地球の限界」が指摘されています。行動を起こすことが求められています。

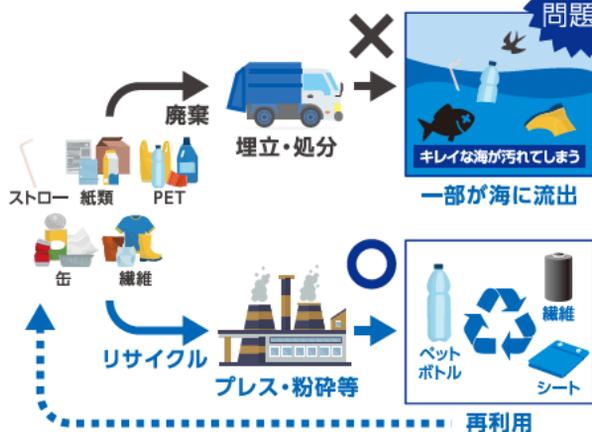
暮らしのなかのSDGs

国内の外食チェーンやホテルとなったプラスチックごみに国内の食品ロスが年間600万トンを超え、その半数を家庭ごみが占めているなど、暮らしに関わる問題はたくさんあります。一方で被災地の作物・製品を購入する「応援消費」など、私たち

テルなどがプラスチック製ストローを廃止するきっかけによる海洋汚染の問題や、まだ食べられるのに捨てられる万トンを超え、その半数を家庭ごみが占めているなど、さんあります。一方で被災地の作物・製品を購入することができることもたくさんあります。

例1.資源ごみを減らし、リサイクルを

誰かがちょっとした心掛けでできるリサイクルを!



例2.応援消費

経済復興を応援し、被災地の特産品を消費する



SDGsの目標

2030年までに行う国際目標が、国連で2015年に採択されました。人間と地球にとって持続可能な開発に不可欠な17のゴールと169のターゲットで構成され、「地球上の誰一人取り残さない」ことを誓っています。



SDGsへの取り組みが評価

滋賀銀行は、SDGsを起点とした社会的課題解決に向けた取り組みを、本業を通じて実践しています。各界からいただいた評価を追い風に、これからも地域の皆さまとともに持続可能な社会に向けて邁進してまいります。

【取組み例】

ニュービジネスサポート資金 (SDGsプラン)

SDGs私募債

住宅ローンをLGBTカップルにも

など



第2回ジャパンSDGsアワード
「SDGsパートナーシップ賞」



21世紀金融行動原則
「環境大臣賞(地域部門)」

第7次中期経営計画

メインテーマ

「未来を描き、夢をかなえる」

2019年4月より、第7次中期経営計画がスタートしました。メインテーマは「未来を描き、夢をかなえる」。自分らしく未来を描き、誰もが幸せに暮らせる社会を目指して、お客さま、地域の夢実現や課題解決を起点とする、具体的な行動に努めてまいります。

～経営計画のアクションの起点となる指標～

サステナビリティビジョン(長期ビジョン)

地域の明るい未来を実現し、当行が果たすべき責任と役割を認識するための長期的なビジョンを策定しました。



※詳細は当行ホームページにて掲載しています。

第7次中期経営計画(2019年4月～2024年3月)

概要

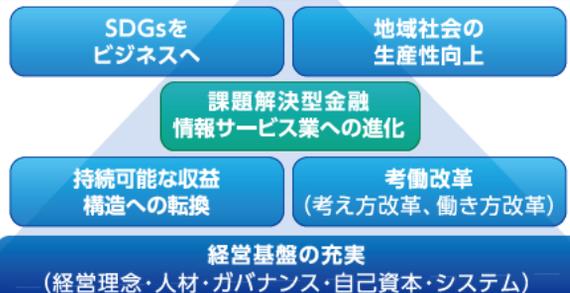
目指す姿

「Sustainability Design Company」
～「三方よし」から「共存共栄」の実現へ～

メインテーマ

未来を描き、夢をかなえる
～お客さま・地域社会・役職員の未来をともに～

未来創造 挑戦項目



挑戦指標

挑戦指標		2022年3月計画	2024年3月計画
SD 目標	Sustainable Development 推進投資	(新規投資総額累計) 5,000億円	
	地域顧客の価値向上サポート (コンサルティング相談件数)	850件	1,000件
	地域顧客の資産形成サポート (預り資産残高「投資信託+金融商品仲介」)	2,200億円	3,000億円
	温室効果ガス排出量削減(%) (2013年度比較の削減率)		25%削減
	SDGs・金融リテラシーの普及・ 向上活動 次世代人材の育成活動		(研修等の実施人数) 5,000人
取 組 目 標	親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)		最終年度 100億円以上
	顧客向けサービス業務利益	20億円	30億円

(※)SD(Sustainable Development)目標…地域の持続的発展につなげる目標

長期的挑戦指標	長期的目標
ROE(連結)	5%以上
OHR	65%未満



生涯にわたって「頼れる しがぎん」へ

～人生100年時代のパートナーとして～ お客さまの資産形成をサポート

お客さまのライフプランに応じた適切な商品・サービスの提供に努めています。

10歳代	20歳代	30～40歳代	50歳代	60歳代	70歳代以降
	就職	結婚/子育て/マイホーム		セカンドライフ	相続
ジュニアNISA	積立型商品 (iDeCo(個人型DC)、NISA(一般、つみたて)、投信積立、平準払型保険)			退職金スペシャル定期 退職金専用ツインプラン	贈与 遺言/相続
				年金定期	
資産運用アドバイザー・休日相談店舗での資産運用相談					
保険コンサルティング(各種保険の見直し、医療保険・がん保険の取り扱い)					

「しがぎん」で資産形成

豊富なラインナップからお客さまのニーズに合った質の高い提案と、アフターフォローを行います。

ライフプランガイドを ご活用ください



お客さまのライフステージに合わせたご提案や資産形成に有効な制度・各種商品のご案内など、お客さまに役立つ情報を掲載しております。

さまざまなチャネルで資産運用をお手伝い！

将来の資産づくりをお手伝いするため、当行ではニーズに合わせた商品ラインナップを取り揃えております。

また、個人のお客さま向けの資産運用セミナーを月2回程度、休日相談店舗で開催するとともに、企業の従業員の皆さまへの金融教育のお手伝いも実施しております。

各支店・出張所でも担当者が資産運用のご相談を承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。

休日相談店舗

土・日・祝日も営業。(9:00～17:00)
資産運用のご相談ができます。

南草津 守山 大薮

▶ご予約について

<https://www.shigagin.com/personal/support/personal.html>



ライフプランガイドの内容をご紹介します

P3-4 人生でかかるお金はどれくらい？

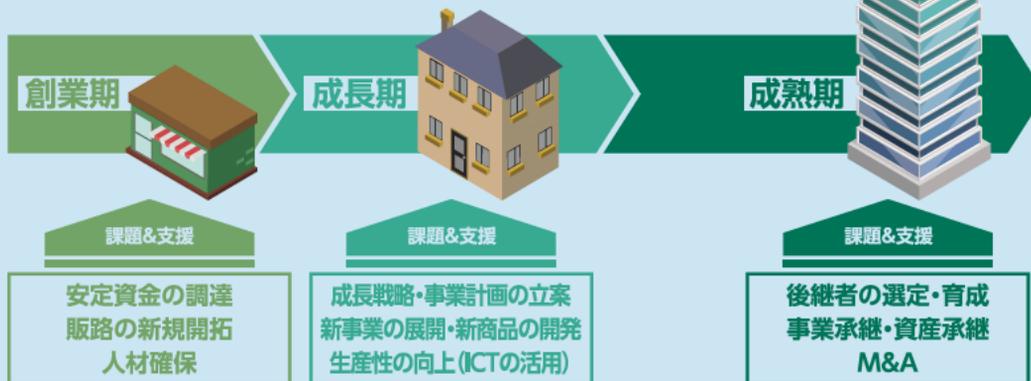


人生のさまざまなイベントに必要なお金を掲載。今後のライフプランの参考としてご活用ください。

企業のライフステージに 応じた 最適なソリューションを 提供します



～お客さまの幅広いご相談にお応え～
コンサルティング業務



中小企業診断士や1級ファイナンシャル・プランニング技能士等の資格を持つ行員が、外部機関や専門家と連携し、企業のライフステージに応じたさまざまな課題解決をお手伝いします。

新規事業の創造を目指して

ニュービジネスサポート「サタデー起業塾」

旺盛な起業家精神をサポートするため、「サタデー起業塾」によりビジネスのヒントを提供。ビジネスプランコンテスト「野の花賞」では、新規性の高い事業に取り組まれている事業者を表彰しています。



取引先の販路拡大・課題解決を支援

SDGsビジネス・マッチングフェア

過去11回開催してまいりました「エコビジネスマッチングフェア」は、2019年度、装い新たに「SDGsビジネス・マッチングフェア」として、7月23日にびわ湖大津プリンスホテルにて開催。社会的課題解決に取り組むビジネスや、生産性向上・人材などに関する課題解決のサポートをしています。



地域資源に光をあてる

クラウドファンディング

クラウドファンディングの手法を通じて、地域ブランドの魅力向上や、地域資源を活用した新商品・サービスの提供に取り組む事業者をサポートしています。ニーズや特徴に合わせて、複数の事業者と連携しています。



円滑な事業承継による持続可能な地域経済の実現

事業承継・M&A

中小企業において、経営者の高齢化や後継者不在など、事業承継が大きな課題となっています。

早期かつ計画的な事業承継対策を行うために、コンサルティングを通じた情報提供と事業承継計画の策定、M&Aによる事業の継続、発展をサポートしていきます。

地域の価値向上を目指 文化保全など幅広い活

して、環境や 動を進めています。



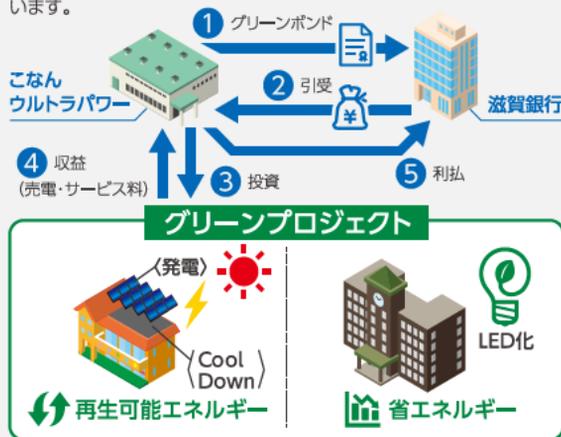
お金の流れで社会を変える

ESG投資

当行では、第7次中期経営計画において、「Sustainable Development推進投融資」を挑戦目標に掲げ、持続可能な社会の実現に資する投融資を進めています。

事例 こなんウルトラパワー「グリーンボンド」

湖南省や民間企業等が出資する地域新電力会社、こなんウルトラパワー株式会社が2月25日(月)、再生エネルギーおよび省エネルギー事業導入のための資金として、「グリーンボンド※」を発行され、当行はその債券を一括して引き受けました。エネルギーの新たな循環経済が形成されることにより、環境保全やさらなる地域活性化が期待されています。



当行はこれからも、経営に環境を組み込んだ「環境経営」を通じて、持続可能な社会の実現に努めてまいります。

グリーンボンドとは？

環境改善効果のある国内外の事業(グリーンプロジェクト)に要する資金を調達するために、企業や地方自治体等が発行する債券のこと。

産学官金連携を通じた地域活性化

滋賀大学より「社会連携コーディネーター」を受嘱

2019年3月、滋賀大学より、「社会連携コーディネーター」を受嘱しました。2016年10月に同学と連携した「包括的連携協定書」に基づくもので、滋賀大学の教育・研究リソースを活用した産学官金連携による地域活性化を目指して、地域や企業等との橋渡し役として取り組みを進めています。



滋賀の伝統・文化・ブランドを再発見

「かけはし」滋賀銀行創立85周年特別号発刊

「湖国を再発見する」をテーマに、あまり知られていない滋賀の地域資源に光を当て、湖国の魅力を県内外の多くの人に届けられるよう、「かけはし」特別号を発刊しました。また、当行を支えていただいている地域の皆さまへの感謝として、県内外で実施した「地域社会への感謝活動」の様子も掲載しています。





お客さまと地域の成長のために、 ともに歩んでまいります

個人・法人ともに順調に増加

預金等

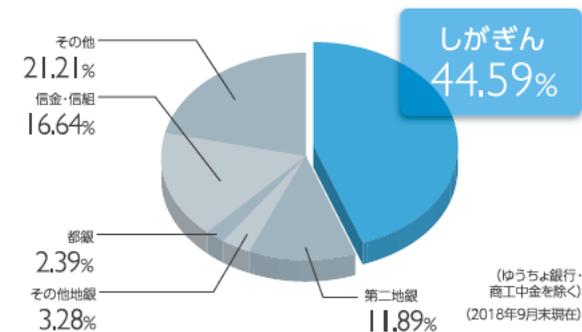
当期も地域の皆さまからのご支持を受けて、期中平均残高は前期比1,734億円増加し、4兆8,039億円となりました。コアとなる個人預金の期中平均残高は3兆4,841億円で同816億円の増加となりました。

預金等(譲渡性預金含む) 期中平均残高

単位:億円



預金残高「滋賀県内シェア」



※小数点第3位以下四捨五入

事業性・消費者向け・地方公共団体向け貸出ともに増加

貸出金

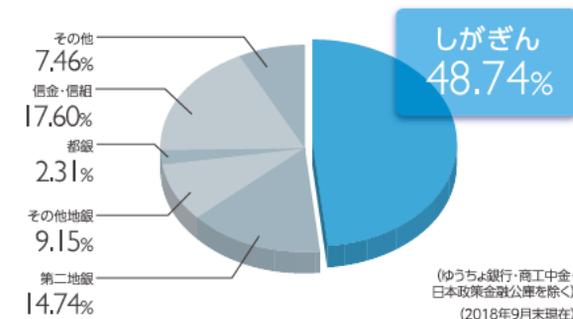
当期は、事業性貸出・消費者向け貸出・地方公共団体向け貸出がそれぞれ増加し、期中平均残高は3兆6,967億円となりました。前期比1,646億円、4.66%の増加となりました。

貸出金 期中平均残高

単位:億円



貸出金残高「滋賀県内シェア」



※小数点第3位以下四捨五入

資産の運用も お任せください

多様な資産運用ニーズを親身にサポート

預り資産 残高

投資信託、公共債等の預り資産残高（取扱保険料累計額含まず）は、2,360億円で、前期末比182億円の増加、うち個人の預り資産残高は、2,187億円で、前期末比136億円の増加となりました。期中販売額は投資信託が110億円減少の402億円、保険が77億円増加の296億円となりました。

預り資産残高



投資信託・保険期中販売額



格付は安心の 「Aクラス」を確保



2つの格付機関が「A+」と高い評価

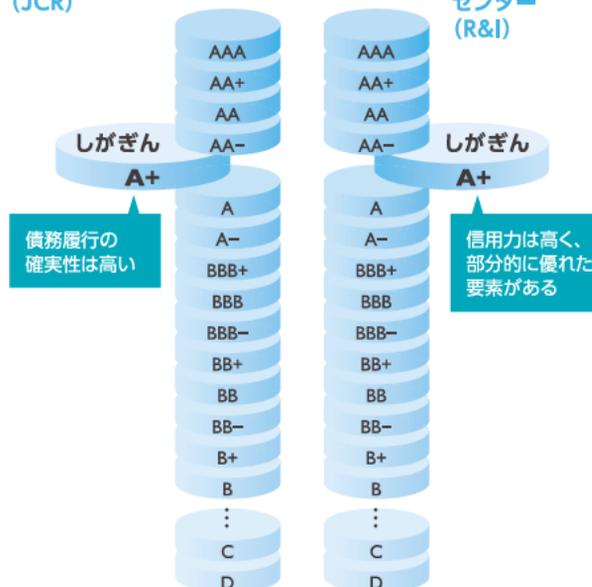
格付

「大切なお金は、安心できる銀行に預けたい」。格付はお客さまに安心して銀行をお選びいただくひとつの目安となる外部評価です。

当行は、2つの格付機関からともに「A+」を取得し、信用度について高い評価をいただいています。

日本格付研究所 (JCR)

格付投資情報 センター (R&I)



用語説明

格付

銀行預金の元金支払の確実性や安全性について、利害関係のない第三者が判断してその結果を簡潔な記号で表したものです。銀行を判断するうえで、安全性・信用度を客観的に評価した重要な指標のひとつです。



これからも「安全」「健全」な経営に努めます

自己資本比率も国際統一基準を大きくクリア

自己資本比率 (連結)

自己資本比率は、銀行の安全性、健全性を測る指標のひとつです。当行のように海外に営業拠点を持つ銀行は、国際統一基準を満たしていなければなりません。当行の自己資本比率は15.68%（パーゼルⅢ基準、2019年3月末、連結ベース）と国際統一基準を大きくクリアしています。

2019年3月末

	実績	最低所要比率
連結 総自己資本比率	15.68%	8.0%以上
同 Tier1比率	14.79%	6.0%以上
同 普通株式等Tier1比率	14.79%	4.5%以上

※パーゼルⅢ基準による自己資本比率を算出しております。

(ご参考:自己資本比率推移)



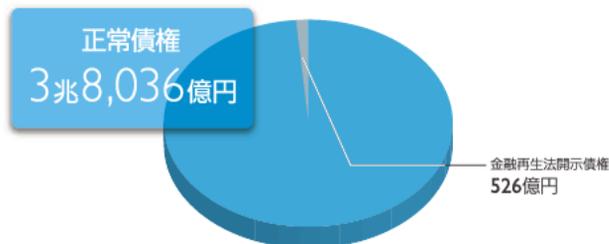
用語説明

自己資本比率

銀行の安全性、健全性を判断する基準のひとつに、自己資本比率があります。海外に支店を有する国際統一基準行では新たな自己資本比率規制（パーゼルⅢ）が2013年3月期決算から段階的に導入され、各最低所要比率を満たす必要があります。

不良債権の状況

当行の金融再生法に基づく開示債権の合計は526億円で前期末比3億円の増加、総与信に占める比率は1.36%で同0.05%の低下となりました。また、貸倒引当金や担保などによる保全率は73.44%で同0.86%の低下となりました。



金融再生法開示債権



用語説明

不良債権比率

貸出金等の総与信残高に占める不良債権の割合です。不良債権比率が低いほど、資産の質は高くなります。銀行ごとにその資産総額の規模が異なることから、この比率が銀行の健全性をみる指標のひとつになります。

お知らせします、 しがぎんの業績



業績ハイライト

- 資金調達費用の増加により、資金利益は前期比11億円減少しました。役務取引等利益は前期比2億円増加したものの、その他業務利益は債券・金融派生商品関係損益の減少を主因に同13億円減少し、業務粗利益は同22億円減益の525億円となりました。
- 経費は人件費の減少等により全体で前期比8億円減少し、実質業務純益は同13億円減益の121億円となりました。
- 与信コストは39億円と前期比35億円増加したものの、政策保有株式の売却等により株式等関係損益が93億円と同60億円増加しました。これらを主因に経常利益は同21億円増益の198億円、当期純利益も同17億円増益の142億円となりました。

業務粗利益

銀行本来の業務(貸出業務、為替業務、有価証券運用など)から得た利益です。

単位:億円



業務純益

一般企業でいう営業利益にあたります。業務純益 = 業務粗利益 - 経費(人件費、物件費など) - 一般貸倒引当金繰入額 単位:億円



経常利益

業務純益から株式の売却損益や不良債権処理に関わる費用などをプラス・マイナスした利益です。

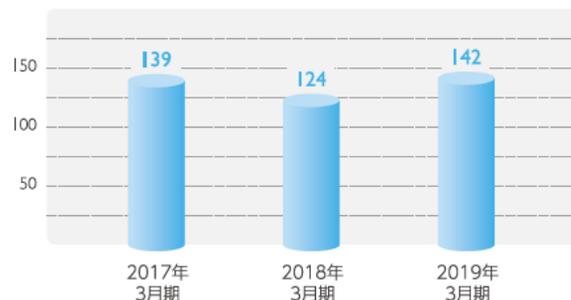
単位:億円



当期純利益

経常利益から法人税や事業税等を差し引いた最終的な利益です。

単位:億円



いつでもどこでも簡単に スマホアプリ拡大でますます便利に

2019年3月、新たに「滋賀銀行アプリ」「滋賀銀行デジタル通帳」の提供を開始しました。

アプリからの口座開設*や、残高・入出金の確認が、いつでもどこでも簡単に行えるようになりました。

*当行にすでに口座をお持ちの方は除きます。

スマホで
通帳管理!

滋賀銀行アプリ

滋賀銀行
デジタル通帳

お取引を
かんたん・
便利に!

キャッシュレス決済でますます便利に スマホ決済サービスとの口座連携を拡大

2019年4月、スマホ決済サービス「J-Coin Pay」、
「メルペイ」と連携し、口座からチャージ(入金)できる
サービスの提供を開始しました。

今後もお客さまの幅広いキャッシュレスニーズに対応
できるよう決済サービスの拡充に努めてまいります。

〈ご利用可能な決済サービス〉



2019年度新CM 「未来をデザイン篇」

滋賀銀行の新たなCMが完成しました。今回は、第7次
中期経営計画のメインテーマ「未来を描き、夢をかなえる」
になぞらえ、鮮やかでワクワクする未来をイメージ。あら
ゆるつながりを通じて豊かな未来が創られていく様子を
描いています。7月より、びわこ放送でオンエアされるほか、
YouTubeの当行公式チャンネルにも公開します。

是非、ご覧ください!



※オンエア時に多少変更になる場合があります。

連結財務諸表

連結貸借対照表

(2019年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	811,032	預 金	4,849,187
コールローン及び買入手形	4,022	譲渡性預金	84,955
買入金銭債権	4,624	コールマネー及び売渡手形	49,989
商品有価証券	172	債券貸借取引受入担保金	218,995
金銭の信託	15,323	借 用 金	367,480
有価証券	1,352,017	外 国 為 替	93
貸 出 金	3,779,056	新株予約権付社債	22,198
外 国 為 替	8,625	そ の 他 負 債	42,057
そ の 他 資 産	82,705	退職給付に係る負債	1,810
有形固定資産	56,033	役員退職慰労引当金	8
建 物	15,323	睡眠預金払戻損失引当金	502
土 地	37,925	利息返還損失引当金	30
建設仮勘定	172	偶発損失引当金	195
その他の有形固定資産	2,612	繰延税金負債	42,653
無形固定資産	2,389	再評価に係る繰延税金負債	7,110
ソフトウェア	2,219	支 払 承 諾	25,776
その他の無形固定資産	170	負債の部合計	5,713,043
繰延税金資産	665	(純資産の部)	
支払承諾見返	25,776	資 本 金	33,076
貸倒引当金	△ 27,174	資 本 剰 余 金	24,536
		利 益 剰 余 金	209,664
		自 己 株 式	△ 5,921
		株 主 資 本 合 計	261,356
		その他有価証券評価差額金	130,613
		繰延ヘッジ損益	△ 3,895
		土地再評価差額金	11,357
		退職給付に係る調整累計額	2,665
		その他の包括利益累計額合計	140,741
		新 株 予 約 権	129
		純資産の部合計	402,227
資産の部合計	6,115,271	負債及び純資産の部合計	6,115,271

連結損益計算書(要約)

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	金額
経 常 収 益		98,558
資金運用収益	51,468	
(うち貸出金利息)	(37,704)	
(うち有価証券利息配当金)	(13,487)	
役務取引等収益	14,957	
その他業務収益	17,975	
その他経常収益	14,156	
経 常 費 用		77,544
資金調達費用	7,147	
(うち預金利息)	(2,585)	
役務取引等費用	5,082	
その他業務費用	16,537	
営業経費	41,972	
その他経常費用	6,804	
経 常 利 益		21,013
特 別 利 益		28
固定資産処分益	28	
特 別 損 失		43
固定資産処分損	43	
税金等調整前当期純利益		20,998
法人税、住民税及び事業税	5,732	
法人税等調整額	584	
法人税等合計		6,317
当期純利益		14,681
親会社株主に帰属する当期純利益		14,681

単体財務諸表

第132期末 貸借対照表(要約)

(2019年3月31日現在)

(単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
(資産の部)		(負債の部)	
現金預け金	810,987	預 金	4,854,675
コールローン	4,022	譲渡性預金	97,905
買入金銭債権	4,624	コールマネー	49,989
商品有価証券	172	債券貸借取引受入担保金	218,995
金銭の信託	15,323	借 用 金	361,363
有価証券	1,355,272	外 国 為 替	93
貸 出 金	3,795,860	新株予約権付社債	22,198
外 国 為 替	8,625	そ の 他 負 債	26,359
そ の 他 資 産	46,791	退職給付引当金	5,521
有形固定資産	55,737	睡眠預金払戻損失引当金	502
無形固定資産	2,367	偶発損失引当金	195
支払承諾見返	25,776	繰延税金負債	41,330
貸倒引当金	△ 25,086	再評価に係る繰延税金負債	7,110
		支 払 承 諾	25,776
		負債の部合計	5,712,017
		(純資産の部)	
		資 本 金	33,076
		資 本 剰 余 金	23,942
		資 本 準 備 金	23,942
		利 益 剰 余 金	199,723
		利 益 準 備 金	9,134
		その他利益剰余金	190,589
		固定資産圧縮積立金	400
		別 途 積 立 金	174,793
		繰越利益剰余金	15,395
		自 己 株 式	△ 5,921
		株 主 資 本 合 計	250,821
		その他有価証券評価差額金	130,046
		繰延ヘッジ損益	△ 3,895
		土地再評価差額金	11,357
		評価・換算差額等合計	137,508
		新 株 予 約 権	129
		純資産の部合計	388,459
資産の部合計	6,100,476	負債及び純資産の部合計	6,100,476

第132期 損益計算書(要約)

(2018年4月1日から2019年3月31日まで)

(単位:百万円)

科目	金額	金額
経 常 収 益		83,429
資 金 運 用 収 益	52,423	
(うち貸出金利息)	(37,693)	
(うち有価証券利息配当金)	(14,461)	
役 務 取 引 等 収 益	12,446	
そ の 他 業 務 収 益	4,471	
そ の 他 経 常 収 益	14,088	
経 常 費 用		63,627
資 金 調 達 費 用	7,116	
(うち預金利息)	(2,586)	
役 務 取 引 等 費 用	5,467	
そ の 他 業 務 費 用	4,180	
営 業 経 費	40,378	
そ の 他 経 常 費 用	6,484	
経 常 利 益		19,802
特 別 利 益		28
固 定 資 産 処 分 益	28	
特 別 損 失		42
固 定 資 産 処 分 損	42	
税 引 前 当 期 純 利 益		19,788
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	4,981	
法 人 税 等 調 整 額	588	
法 人 税 等 合 計		5,570
当 期 純 利 益		14,217

株式の状況をお知らせします

株式の状況 (2019年3月末現在)

発行済株式総数	53,090千株
株主数	10,948人

大株主の状況 (2019年3月末現在)

株主名	所有株式数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	2,167	4.23
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE SILCHESTER INTERNATIONAL INVESTORS INTERNATIONAL VALUE EQUITY TRUST	2,127	4.16
日本生命保険相互会社	1,610	3.15
明治安田生命保険相互会社	1,599	3.12
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,502	2.93
滋賀銀行従業員持株会	1,214	2.37
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	1,180	2.30
NORTHERN TRUST CO. (AVFC) RE U.S. TAX EXEMPTED PENSION FUNDS	1,169	2.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	1,149	2.24
JP MORGAN CHASE BANK 385151	815	1.59
計	14,539	28.43

※当行は自己株式1,954千株(発行済株式総数に対する所有株式数の割合は3.68%)を所有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。

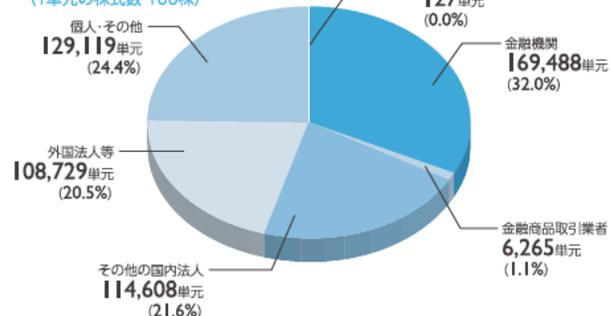
※持株比率は発行済株式(自己株式を除く)の総数に対する所有株式数の割合です。

株式の所有者別状況 (2019年3月末現在)

※自己株式1,954,512株は、「株式の状況 個人・その他」に19,545単元、「単元未満株式の状況」に12株含まれております。

● 株式の状況

(1単元の株式数 100株)



● 単元未満株式の状況 256,481株

株式のご案内

事業年度

4月1日から翌年3月31日まで

基準日

定時株主総会の議決権 3月31日

期末配当 3月31日

中間配当 9月30日

※その他必要がある場合は、あらかじめ公告する一定の日

定時株主総会

毎年6月に開催いたします。

公告方法

電子公告により当行ホームページ(<https://www.shigagin.com/>)に掲載いたします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数

100株

注)2018年10月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更いたしました。また、これに併せて同日付で5株を1株に株式併合いたしました。

株主名簿管理人／特別口座の口座管理機関

三菱UFJ信託銀行株式会社

郵便物送付先／各種お問い合わせ先

〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号

三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部

● 各種事務に関するご照会 電話0120-094-777(通話料無料)

[受付時間 9:00~17:00(土、日、祝日、12月31日~1月3日を除く)]

● ホームページアドレス <https://www.tr.mufj.jp/daikou/>

三菱UFJ信託銀行の本支店でもお取り次ぎいたします。

株式に関する各種手続き

「届出住所・姓名などの変更」、「配当金の振込先の指定または変更」、「単元未満株式の買取・買増請求」などにつきましては、口座を開設されている証券会社(証券会社に口座開設されていない株主さまは、上記の三菱UFJ信託銀行)へお申し出ください。

未受領配当金(ゆうちょ銀行の払渡期間経過後)のお支払いにつきましては、上記の三菱UFJ信託銀行までお申し出ください。

役員一覧

取締役会長	大道良夫	監査役	林 一義
取締役頭取(代表)	高橋祥二郎	監査役	長谷川雅人
専務取締役(代表)	今井悦夫	※2 監査役(非常勤)	西川 聡
常務取締役	大野恭永	※2 監査役(非常勤)	松井保仁
常務取締役	西 基宏	執行役員	中島浩之
常務取締役	西藤崇浩	執行役員	竹村雅人
常務取締役	久保田真也	執行役員	青木和夫
取締役	堀内勝美	執行役員	川口宏治
※1 取締役(非常勤)	安井 肇	執行役員	西川勝之
※1 取締役(非常勤)	竹内美奈子	執行役員	岸田寛司
		執行役員	田中伸幸

※1は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
 ※2は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

連結子会社 (2019年3月31日現在)

会社名	主な事業内容
しがぎんコンピュータサービス株式会社	事務計算受託業務
しがぎんビジネスサービス株式会社	事務代行業務、不動産管理業務
株式会社しがぎん経済文化センター	コンサルティング業務
株式会社滋賀ディーシーカード	クレジットカード業務、信用保証業務
しがぎんリース・キャピタル株式会社	リース・投資業務
しがぎん代理店株式会社	銀行代理店業務
株式会社しがぎんジェーシーピー	クレジットカード業務
しがぎんキャッシュサービス株式会社	現金精査・整理、ATM管理業務
滋賀保証サービス株式会社	信用保証業務、貸出担保評価・管理業務

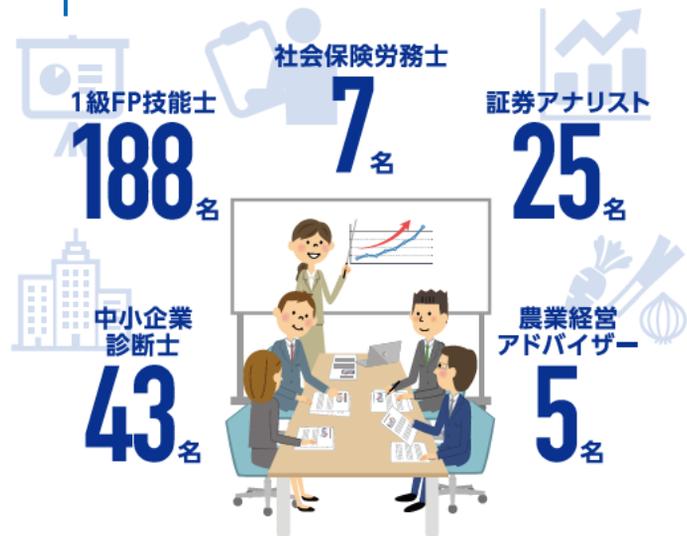
数字で見る「しがぎん」

トピックス TOPICS ④

課題解決型人材

当行では、地域やお客さまの悩みに正面から向き合い、適時適切なコンサルティングを行う「課題解決型人材」の育成に努めています。

現在の資格取得者数※



専門知識を備えた職員が、
 皆さまの暮らしをサポートいたします。



※2019年5月現在